

これまでのPI活動と計画検討の経緯



様々なPI※活動で話し合いが行われています

外環に関して原点に立ち戻り、計画の必要性からPI外環沿線協議会、PI外環沿線会議などを通じて話し合い平成17年8月に構想段階の議論を終了し、平成17年9月に「これまでの検討の総括」を公表しました。
平成21年4月には、これまでにオープンハウスや課題検討会などで頂いたご意見等を踏まえ、今後検討していく課題とその解決のための方針などを「対応の方針」としてとりまとめました。今後は、詳細な検討の各段階において、「対応の方針」に基づいて引き続き地域のみなさまのご意見をお聴きしながら具体的な検討を実施します。

※PI:計画の早い段階から、市民等の関係者の方々に積極的に情報を提供し、コミュニケーションを図りながら、市民の意見を計画に反映する取り組み。

地域のみなさま

全体のPI

PI外環沿線協議会(PI協議会)

外環沿線7区市の住民と、国、東京都及び沿線自治体の担当者で構成され、外環(関越道～東名高速)について原点に立ち戻り、計画の構想段階から幅広く意見交換を行う場として、平成14年6月に発足したものです。発足以来、PI委員協力のもと2年間にわたる、計42回の議論の末、平成16年10月に「PI外環沿線協議会2年間のとりまとめ」が公表されました。



PI外環沿線会議(PI会議)

PI外環沿線協議会の協議員経験者、国、東京都及び、外環沿線7区市の担当で構成され、外環の必要性や「PI外環沿線協議会2年間のとりまとめ」において今後の課題とされた事項について、引き続き話し合いを行う場として、PI委員協力のもと平成17年1月に発足したものです。平成17年8月には、各委員から、これまでの議論を踏まえた総括的な意見表明が行われ、構想段階の議論の区切りとなりました。



地域ごとのPI

オープンハウス・意見を聴く会

沿線地域のみなさまに向けた、「外環オープンハウス(出張説明会)」や「意見を聴く会」などを沿線各所で開催し、地域の抱える課題や外環が整備された場合の各地域への具体的な効果・影響などを、模型、パネル・パンフレット等を用いて、詳細にご説明するとともに、ご意見をお聴きする活動を続けています。



課題検討会

国、東京都、外環沿線7区市では、多岐にわたる地域の課題を整理し、その対応の方針を検討するにあたり、地域のみなさまのご意見や考え方を一層具体的に取り入れるために「課題検討会」等を開催しました。課題検討会では、各地域にお住まいのみなさまに、地元ならではの視点から、外環整備に関する地域の具体的な懸念や対応のアイデアなどについてご意見を頂き、それに対する考え方をまとめました。(会の進め方などは、各地域の状況に応じたもので、開催されていない地域もあります。)



有識者・専門家

大深度トンネル技術検討委員会

道路整備における大深度地下の活用にあたり、技術的な検討が急務となっていることから、環境など地域への影響や工期短縮・コスト削減を考慮した構造・施工方法等の技術的課題を具体的に検討することを目的として設置した委員会です。



東京環状道路有識者委員会

手続きの透明性、客観性、公正さを確保するため、公正中立な立場から、PIプロセスについて審議、評価、助言をするために設置した委員会です。

東京外かく環状道路の計画に関する技術専門委員会

今後、より具体的に検討を進めるにあたり、沿線住民や関係自治体等に提示していく資料に関し、技術的見地から、その妥当性について審議することを目的とします。

外環の主な経緯と取組み

年号	主な経緯	全体のPI	地域ごとのPI	有識者・専門家
昭和41年	7月 都市計画決定(高架方式)			
昭和45年	10月 建設大臣が「地元と話得る条件の整うまでは強行すべきではない。」旨の発言(いわゆる凍結発言)			
平成10年	3月 東京都が建設省・関係区市からなる「東京外かく環状道路とまちづくりに関する連絡会議」を設置			
平成11年	10月 東京都知事が武蔵野市、練馬区の現地を視察 12月 東京都知事が「地域環境の保全やまちづくりの観点から、自動車専用部の地下化案を基本として計画の具体化について取り組む」ことを表明			
平成12年	4月 東京外かく環状道路に関する地元団体との話し合いを開始			
平成13年	1月 国土交通大臣が三鷹市、武蔵野市の現地を視察 4月 現計画を地下構造に変更する「計画のたたき台」を公表		4月 「計画のたたき台」に関する地域説明会	12月 東京環状道路有識者委員会
平成14年	1月 沿線区市長意見交換会 開催	6月 「PI外環沿線協議会」が発足	10月 外環相談所	11月 国と東京都に対して最終提言
平成15年	3月 国と東京都が「東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)に関する方針」を公表 7月 「環境影響評価方法書」を公告		6月 外環オープンハウス	
平成16年	1月 沿線の環境調査を開始	10月 「PI外環沿線協議会」2年間のとりまとめ	5月 地域ごとの話し合い	
平成17年	9月 国と東京都が「東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)についての考え方」を公表 10月 「計画概念図」を公表	1月 「PI外環沿線会議」が発足 8月 「構想段階の議論の総括」	1月 意見を聴く会	1月 東京外かく環状道路の計画に関する技術専門委員会 8月 技術専門委員会とりまとめ 11月 大深度トンネル技術検討委員会
平成18年	2月 「環境への影響と保全対策」を公表 6月 「都市計画案・環境影響評価準備書」公告及び説明会を開催			
平成19年	1月 「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」に基づく事業間調整を実施 3月 東京都都市計画審議会でも原案どおり議決 4月 都市計画変更決定(地下方式) 12月 基本計画決定			
平成20年			1月 課題検討会	
平成21年	4月 「対応の方針」とりまとめ 5月 整備計画決定 事業化 12月 事業の概要及び測量等の実施に関する説明会を開催			
平成22年	8・11月 道路区域決定 (大泉JCT・目白通りIC、中央JCT・東八道路IC、東名JCT)			
平成23年	1月 基本設計及び用地に関する説明会を開催			